

屋内活動

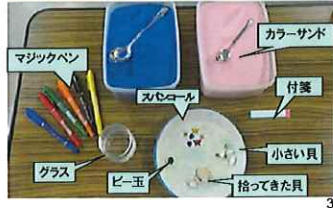
プログラム名(コース名)	ジェルアート ※団体主導			
概要	浜名湖で拾った貝殻を使って、カラーサンドで飾り付けを行い、オリジナルの作品を作る。			
ねらい	貝殻を使って、創造する喜びを味わうことができる。 創意工夫をして、オリジナルの作品を完成させることができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～200人(2人以上)
	活動時間	60～90分	活動時期	通年
	活動場所	研修室等	費用	1個400円
	下見	不要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 筆記用具、貝を拾いに行くときの帽子、合羽 (団体) 貝を拭く用のタオル			
安全上の留意点 (具体的な対策方法)	割れたガラスや貝殻によるケガ(道具の取扱いに注意する) 火傷(クリアジェル加熱時、IHヒーターの周りに近づかない) 砂などが目に入る、誤飲			
活動内容(手順)				
<p>事前①指導者配置の決定：製作手順の説明、巡視指導、研修生への指導</p> <p>②実施方法の決定：活動時間・休憩時間の設定、製作する数量</p> <p>③研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認</p>				
活動前①確認事項：人数、健康状態、貸出備品、準備				
<p>活動①指導：指導者より</p> <p>②活動開始：作り方については裏面「ジェルアートの作り方」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖岸で貝殻を拾う。可能であれば前日までに拾っておき、洗ってよく乾かしておく。 ※雨天時は青年の家にある貝殻を使用するが、貝殻が拾える時間があれば拾って返す ※貝殻をさわった後は、石鹸できれいに手を洗う ・ガラスに砂を入れて空気を抜く。 ・貝殻やビー玉など砂の上に飾り付けをする。 ・ガラスに名前を書いた付箋をセロハンテープで貼る。 ・ジェルを注いで固まったら完成。 ※ジェル入れは所員が行う ※退所日の活動の場合、ジェルが固まるまでの時間(60分程度)を考慮しないと当日持ち帰れない場合がある (全員分固まらなければ後日受け取りにきていただく) <p>③確認事項：人数、健康状態</p> <p>④振り返り：活動の感想を発表</p> <p>⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰、清掃 (※備品の片付けは所員も一緒に実施、担当所員へ声掛けをする。)</p> <p>⑥報告：所員へ終了、研修生の健康状態を報告</p>				

ジェルアートの作り方



1

活動備品①



3

活動備品②



4

事前に貝を拾いに行く

①湖畔で小さめの貝を拾う ※軍手を着用する。
②拾った貝を艇庫裏側の水道で洗いタオルで水気をふき取る。



4

カラーサンドを入れる



※1度グラスに入れた砂は戻さない。
※タッパーの中に入っているスプーンでそれぞれ砂を入れる。
※スプーンでグラスの中の砂を混ぜない。
※新聞紙を下に敷く。

5

コップの底を軽く叩いて空気を抜く



※砂の間の空気をしっかり抜かないと、ジェルを注いだ時に気泡が発生する。

6

飾りつけを行う

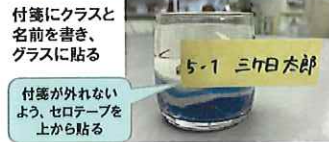
グラスの中には
(・拾った貝・ビー玉1個まで・スパンコール3枚まで・小さい貝3個まで)
を飾る。



※コップからはみ出さないようにする。
※貝に字や絵を書いてもよい。

7

完成したグラスを所員に渡す



付箋にクラスと名前を書き、グラスに貼る
付箋が外れないよう、セロテープを上から貼る

※ジェル入れは所員が行います。

8

片付け、注意喚起のお願い

使用したマジックペンの片づけをする
床に落ちた砂等を拾い、ゴミ箱に捨てる



元あったように、色ごとに分類して戻す

※加熱したジェルは高温になるため、近づかない、触らないよう声掛けの実施をお願いします。

9

ジェルが固まったら完成



※固まるまでの目安時間(約60分)

10

ジェルアート

☆事前準備

湖岸で貝を拾う（拾った貝は水で洗う）

クラフトに使用できる貝の目安は2~3こ程度

☆材料

カラーサンド



グラス



かざり



←
3つ



←
3つ



←
1つ

新聞紙



ペシ



☆備品の配置

カラーサンドは2セット準備してあります。



かざりは個数がかいてあるパウチと一緒に置いてあります。



ペンはケースに入った状態で置いてあります。



窓付近で所員がジェル入れを行います。

新聞紙の上に完成したジェルアートを置きます。



☆手順

①各自グラス1つ、新聞紙一つ、

拾ってきた貝を用意する



②カラーサンドを入れる

▲注意▲

- 一度グラスに入れた砂は戻せない
- スプーンは各色専用のものを使う
- グラスの中の砂を混ぜるときは、指で混ぜる
- 砂はグラスの半分まで入れる
- 砂はタッパーの上で入れる



③グラスの底を軽く叩く

砂を入れたら砂の間の空気を抜くために

グラスの底を軽く叩く

- ### ▲注意▲
- 強く叩きすぎると
砂が崩れてしまう



④飾りつけをする

拾ってきた貝とかざりを

砂の上にかざる



◎ポイント◎

・貝はペンで色を塗ってもよい

▲注意▲

・グラスから貝がはみ出ない
ようにかざりをいれる



⑤完成したグラスを所員に渡す

付箋に『クラス』と『名前』を書き、

テープを使ってグラスに貼る



⑥片付けをする

- ・ペンを元の場所に戻す
- ・机の上の砂などを捨て、机を整頓する
- ・汚れた新聞紙はゴミ箱に捨てる
きれいな新聞紙は畳んでかごに戻す
- ・使わなかったかざりを戻す



⑦作業終了

▲注意▲ ※注意喚起をお願い致します。

- ジェルは所員が入れる
- ジェルは**高熱**であるため、研修生は近づかない
- ジェルを入れたてのグラスに**触らない**



ジェルアートはおおよそ 1 時間でジェルが固まります

箱詰めは所員が行いますので、退所の際にお持ち帰りください